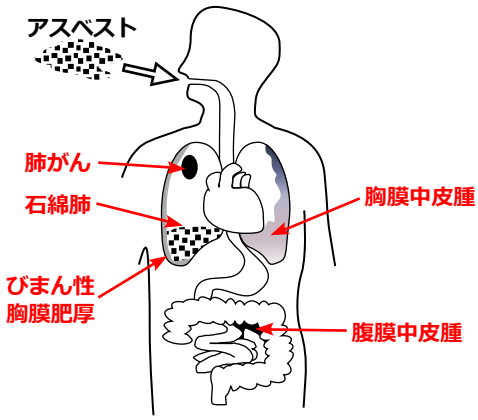
アスベストとは？

　アスベストとは石綿（いしわた，せきめん）と呼ばれる天然の鉱物繊維の総称で，クリソタイル，アモサイト，クロシドライト，トレモライト，アクチノライトおよびアンソフィライトがあります。
　アスベストは，耐熱性，耐薬品性などに優れた特性を持ち，比較的安価であることから建築材をはじめとするさまざまな分野で利用されてきました。
現在は，原則として製造等が禁止されていますが，老朽化した壁材等からアスベストが飛散し，その飛散したアスベストを吸い込むことが問題となるため，労働安全衛生法や大気汚染防止法，廃棄物の処理及び清掃に関する法律などで予防や飛散防止等が図られています。
　建材等に使用されたアスベストは主にクリソタイル，アモサイト，クロシドライトとされ，JIS A 1481 『建材製品中のアスベスト含有率測定方法』の対象アスベストも主にそれら3種類とされていました。
　しかし，最近になって建築物における吹付け材からトレモライト，アクチノライトおよびアンソフィライト（以下トレモライト等と略す）が検出された事案があることが判明し，石綿ばく露防止対策等に万全を期す観点からも，分析調査の徹底が求められ，厚生労働省からトレモライト等についても分析を実施するように通達（基安化発第0206003号 平成20年2月6日）が出されました。

アスベストが人体に及ぼす影響

アスベスト粉じんを吸入することにより，次のような健康障害が発生する恐れがあります。

1.石綿肺（じん肺の一種）
　肺が線維化するもので，せき等の症状を認め，重症化すると呼吸機能が低下することがあります。
2.肺がん
　肺にできる悪性の腫瘍です
3.胸膜，腹膜等の中皮腫（がんの一種）
　肺を取り囲む胸膜等にできる悪性の腫瘍です



（出典：建築物等の解体等の作業における石綿対策＜改正石綿障害予防規則の概要＞
（平成１８年省令改正），厚生労働省パンフレット）

アスベストが人体に及ぼす影響

各種分析装置で高精度のアスベスト分析を行います。
位相差顕微鏡，X線回折分析装置などのアスベスト分析機器を完備しています。
▶対応可能な分析法
　▶平成18年8月21日基発第0821002号
　▶JIS A 1481『建材製品中のアスベスト含有率測定方法』
平成１８年９月１日から，労働安全衛生法及び石綿障害予防規則の一部が改正され，規制の対象と判断される石綿の含有率が1%から0.1%に改められました。
当協会では，これに対応した分析が可能です。

位相差顕微鏡

X線回折分析装置